

随意契約の相手方及び理由等(物品関係)

区 分	内 容 等	備 考
契 約 年 月 日	令和7年4月1日	
契 約 件 名	変圧整流器 一式	
契 約 金 額	63,140,000円	
契 約 の 相 手 方	神奈川県川崎市幸区堀川町72-34 東芝エネルギーシステムズ(株)	
問 合 せ 先	財務部東海契約課東海契約第二係 Tel 029-284-4891	
随意契約の適用条項	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 政府調達事務取扱規則第11条3号	既調達物品との互換性
契 約 の 概 要	J-PARC MRシンクロトロン(MR)は、陽子を3 GeV から30 GeV まで加速しニュートリノ実験施設及びハドロン実験施設に向けて陽子ビームを供給している。2022年からMRでは、ビーム出力増強のため、MRサイクルの高繰り返し運転を開始した。現在、MRは、ニュートリノ実験のために周期を1.36 sに縮めビームパワーを800 kWの運転に成功している。今後、MRでは、さらにサイクルを短縮し、ビームパワー1300kWを目指している。このように、MRサイクルの高繰り返し運転を実現するために高周波加速電圧を高めるシステムの増強が必要であり、加速電圧増強のための高周波加速システムの増設を行っている。 本件は2026年度から運用を計画している加速空洞装置の受電設備に使用する変圧整流器の製作に関するものである。	
随意契約の理由	変圧整流器及び陽極電源は(株)東芝によって設計、製作されたものである。現在は分社化により事業承継された、東芝エネルギーシステムズ(株)が設計・製造及び試験データ等、電源全体に関する詳細な資料を有している唯一の者である。もし、異なる特性の変圧整流器が使用された場合、本機器から流出した高調波が他の高圧受電設備を損傷する恐れがある。また、異なる特性のリアクトルが使用された場合規定の出力リップルが達成できず、陽子がきちんと加速できない原因となる。このように、本件の変圧整流器は陽子シンクロトロン加速器用に極めて精密に特化されて作られたもので、製造、試験の過程において高い技術力と知見が要求される。 したがって、本電源及び受電盤の構造、機能、特性等について細部に至るまで熟知し、本件の製作を行うことができるに足る技術と信頼性を有する者は東芝エネルギーシステムズ(株)において他にはない。	